

令和7年度 報告書
所沢市放課後支援事業

ほうかごところ



所沢市教育委員会

第3次所沢市教育振興基本計画



みんなが持っている

三つの“宝”を

掘り起こして大きく育てます



心身のたくましさ



未来を拓く^{ひら}知恵



ふるさと所沢を愛する心

基本方針

- 1 自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動する「生きる力」の育成
- 2 すべての人が、いつでも、どこからでも、誰とでも、自分らしく学ぶことができる環境の実現
- 3 学校・家庭・地域が連携し、効果的で持続可能な教育の実現

10個の「目標」をもとに「施策」を展開し、「主な取組」を推進することで、3つの方針の実現につなげます。

主な取組

施策

“目標”の地面に根を下ろし、“基本方針”の大木を育てるよ



目標

- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心の育成
- 3 健やかな心と体の育成
- 4 未来を生きる力の育成
- 5 誰もが能力を育める環境の整備
- 6 教育の質を高める環境の整備
- 7 安全・安心な学習環境の整備
- 8 生涯にわたり学び活躍できる環境の醸成
- 9 スポーツの推進
- 10 歴史文化の継承

所沢市教育委員会

教育長 岩間 健一

所沢市では、「地域の子どもは、地域で育てる」という地域立の考えのもと、地域のボランティアや保護者のご協力をいただき、平成15年度から市の事業として「ほうかごところ」をスタートしました。平成19年度からは、国の「放課後子どもプラン」に基づく「放課後子ども教室推進事業」として位置づけ、充実を図ってまいりました。この事業は、児童の安全・安心な居場所を確保し、創造性、自主性、社会性などを養うため、異年齢児間の遊びや学びを通じた交流を促進し、地域住民による児童の健全育成を図ることを目的にしております。本年度は、荒幡小学校に「ほうとこ荒幡」を、三ヶ島小学校に「ほうかごところむくろじキッズ」を新規開設し、本事業の一層の充実に向けてまいりました。

現在開設されている12校の「ほうかごところ」と開設11年目を迎えた青少年課所管の「中富ほうかご広場（中富小学校）」では、それぞれの地域の特色を生かした取り組みが工夫され、地域の方で子どもたちの豊かな体験と健やかな成長を支えていただいております。スタッフの皆様、運営委員の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

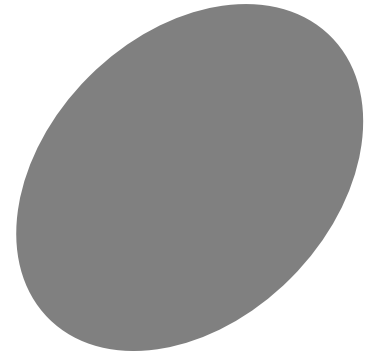
それぞれのほうかごところからは、子どもたちの安全・安心な居場所づくりを進める中で、「異年齢の子どもたちの遊びをとおして、高学年が低学年に優しく接する姿が見られた」「ほうかごところの卒業生が中学生になっても顔を見せに来てくれるような関係になっている」「地域の方々の協力により、体験活動が充実してきている」との報告があり、大変嬉しく思います。これからも、学校や保護者、地域の皆様との強い絆で地域とともに成長する「ほうかごところ」を目指してまいりますようお願いいたします。

所沢市教育委員会では、この事業を通じて、引き続き「所沢市放課後こども健全育成基本方針」の基本理念の実現を目指してまいります。これは、市の教育の基本理念の一つである「ふるさと所沢を愛する心」の具現化につながります。これからも、学校・保護者・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長を支えられるよう、一層の充実に向けてまいります。今後とも、ご理解とご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

目次

あいさつ

I	所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」について	1
II	各小学校「ほうかごところ」の取組	
1	所沢小学校 ほうかごところ	6
2	北小学校 ほうかごところ	8
3	松井小学校 ほうかごまつい	10
4	清進小学校 ほうかごところ	12
5	明峰小学校 ほうかごめいほう	14
6	若松小学校 ほうかごわかまつ どんぐりキッズ	16
7	北秋津小学校 ほうかごところ とんぼキッズ	18
8	若狭小学校 ほうかごわかさ	20
9	林小学校 ほうかご・はやし	22
10	南小学校 ほうかごみなみ	24
11	中富小学校 中富ほうかご広場	26
12	荒幡小学校 ほうとこ荒幡	28
13	三ヶ島小学校 ほうかごところむくろじキッズ	30
III	所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」関連資料	
	所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」実施要綱	33
	所沢市放課後支援事業のこれまでの経過	35
	令和7年度所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」実施校	36



所沢市放課後支援事業 「ほうかごところ」 について



「ほうかごところ」の目的

所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」は、小学校に通う子どもたちを対象としています。

その目的は、子どもを預かることではなく、安全・安心な居場所を確保すること、遊びや学びをとおして異年齢の子どもたちとの交流を促進すること等、地域住民による子どもたちの健全育成を図ることです。

また、「地域の子どもは、地域で育てる」という、「地域立」の考え方をもとに、地域の教育力で「ほうかごところ」の充実を目指しています。

「ほうかごところ」の経緯

所沢市では、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりとのびのびとした成長の支援という観点から、全ての子どもを対象とした「ほうかごところ」を、平成 15 年度に所沢小学校で開設しました。所沢市独自の取組として始まったこの事業は、平成 19 年度から国の「放課後子どもプラン」に基づく「放課後子ども教室推進事業」として位置づけられ、現在では、学校教育課所管 12 校、青少年課所管 1 校を開設し、各「ほうかごところ」で活動の充実を図っています。

「ほうかごところ」の特徴

「ほうかごところ」の名前には、所沢の「ところ」と、子どもたちが楽しく過ごす「ところ」という願いが込められ、広く使われ、愛称となっています。

開設している学校には、運営委員会が設置されており、地域の協力者や保護者が運営をしています。

児童の活動は、放課後支援員である、スタッフリーダーとスタッフ、ボランティアによって見守られ、安全で安心な居場所が確保されています。



所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」

「ほうかごところ」の内容

- 【対象】全児童
- 【活動内容】自主的な遊びや学び、体験活動など
- 【場所】体育館、図書館、校庭 など
- 【実施体制】スタッフリーダー、スタッフ、ボランティア
- 【活動日】原則として給食のある日
- 【登録】参加希望者は、各「ほうかごところ」のスタッフへ事前の登録が必要となります。
- 【保険】スポーツ安全保険等に参加（費用は参加者の負担になります。）

校区運営委員会

実施・検討・調整

小学校

- 【委員】学校関係者、PTA、地元協力者 など
- 【内容】運営方法、活動内容の検討、スタッフの確保 など

施設の提供、連携

『安全・安心な居場所の確保』

【地域立】

地域の協力、参加、保護者の理解など
「地域の子どもは、地域で育てる」

- ・遊びの場、学びの場
- ・体験の場（運動、文化活動など）
- ・交流の場（異年齢の子どもと地域の大人）

所沢市放課後こども健全育成基本方針 *平成23年度から

所沢市子ども・子育て支援事業計画（こども政策課）
主要課題に対応する施策：放課後児童対策の充実

連携

放課後こども健全育成基本方針

所沢市放課後児童対策協議会
(学校、児童クラブ、学識経験者、ほうかごところ等)

中富小放課後児童対策一体運営事業
(青少年課) *平成27年度から

放課後支援事業「ほうかごところ」
放課後子ども教室推進事業

児童館生活クラブ・児童クラブ
放課後児童健全育成事業
(青少年課)

連携強化・一体型へ

※ 国が平成26年7月に策定した放課後子ども総合プランは、所沢市放課後こども健全育成基本方針に位置づけられ、一体型を中心として、その実現を推進することとしています。

令和7年度の「ほうかごところ」

1 取組内容

(1) 運営について

事業の安全かつ円滑な運営を行うため、「ほうかごところ」開設の小学校ごとに、運営委員会を設置しています。各「ほうかごところ」では、それぞれの地域の特色を生かし、工夫した取組が展開されています。

教育委員会では、「安全面の配慮事項」や「緊急時の対応」、「災害発生時の対応」等、安全面の対策について助言しています。夏季休業期間中には、ほうかごところスタッフを対象に研修会を実施し、救急救命や児童への関わり方について研修しました。

(2) ほうかごところ連絡協議会について

11月に開催された連絡協議会では、新規開設した2校も含め13校で、安全管理や今年度の活動についての情報交換を行いました。

参加者全員が、各「ほうかごところ」における取組事例を共有し、現状と課題、また今後の「ほうかごところ」の活動についての意見交換を行うことができました。

2 活動実績

年度	月/日	区分	主催者	内 容	対 象
R6	2～3	募集	各教室	新年度活動の説明・登録受付	在校児童・保護者
R7	4/16	会議	市教委	スタッフリーダー会議（13校）	スタッフリーダー
	8/7	研修	市教委	ほうかごところスタッフ研修会（13校）	スタッフリーダー スタッフ
	11/27	会議	市教委	ほうかごところ連絡協議会（13校）	運営委員長 スタッフリーダー 設置校校長
	1月～3月	調査	市教委	児童の登録及び参加状況について	各ほうかごところ
	随 時	募集	各教室	活動の説明・登録受付	新入児童・保護者
	随 時	会議	各教室	各ほうかごところ運営委員会	各ほうかごところ運営委員会
	随 時	会議	各教室	スタッフ会議	各ほうかごところ

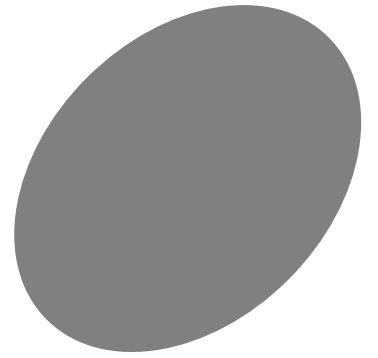
3 成果と課題

(1) 成果

- ・異年齢の友達との遊びをとおして、コミュニケーションのとり方を自然に学び、自分たちで遊びを工夫したり、問題を解決したりするなど、自主性が育ってきました。
- ・スタッフ研修会では、消防署の方々をお招きして救命救急講習を実施したり、不審者対応、エビペンの使用方法について学んだりしました。

(2) 今後の課題

- ・スタッフリーダーと連携し、スタッフが必要と考える研修会を実施し、より一層、児童の健全な育成を図ってまいります。
- ・異年齢集団での活動の中で、自主性や社会性を高めるとともに、それぞれの地域の特色を生かした活動の充実を一層図りたいと考えています。



各小学校 「ほうかごところ」 の取組



所沢小学校 ほうかごところ

◆地域や「ほうかごところ」の概要◆

所沢小学校は明治6年に開校し、令和7年に開校153年を迎えた市内で最も古い歴史を持った小学校で、所沢市の中心市街地に位置しています。校区内には8つの商店街があり、特に所沢駅から北西方向に広がる商店街は近隣の市町の中でも最も大きな繁華街です。校区内には10の町内があり、PTAも町内区分に合わせた「支部」に分かれ、お祭り・盆踊り・餅つきなどの活動を通じ、町内会と密接な関係を持っています。

“ほうかごところ”は、平成15年10月に所沢市の独自事業（のびのび学習支援事業）として県内で初めて開設されました。校区内には高層マンションが多く、1,000名を超える児童が通っています。近年は、子どもが自由に遊べる公園・広場が減少し、学校が子どもたちにとって最も利用しやすく身近な遊び場所となっています。

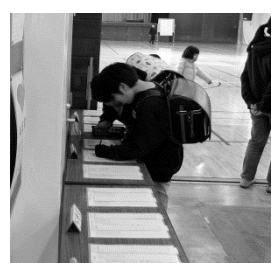
◆活動場所◆

《通常の活動場所》

- ・校庭、体育館、体育館2階（荷物置き場兼用）、状況によって当日使用可能な施設



【1年生・クラスごとに迎えに行きオリエンテーション】



【1、2年生は受付に参加カードを出し
3～6年生は自分で名簿のチェック】



【体育館2階に荷物を置き活動開始】



【活動場所を掲示】



【校庭活動はまとめて移動】

◆活動日・時間◆

- ・原則、給食のある月曜日から金曜日の放課後
一斉下校、引取訓練等、学校の指定日は活動休止
- ・通常授業日：放課後から
夏時間（1学期間中）は18時終了
秋時間（2学期活動開始日～9月30日まで）は17時30分終了
冬時間（10月1日～2月末日まで）は17時終了
春時間（3月1日～3学期活動終了日まで）は17時30分終了
- ・突発的な理由でお迎えが遅れる場合、保護者からの申し出に限り、終了時刻の30分後まで対応

◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	ひかり	合計
児童数	160	174	181	191	181	149	20	1056
登録人数	88	77	105	97	68	17	5	457
登録割合	55.0%	44.3%	58.0%	50.8%	37.6%	11.4%	25.0%	43.3%

1日あたり平均参加人数（通常授業日）…約58人（参加率12.7%）（令和7年12月末現在）

◆活動内容◆

《通常の活動場所》

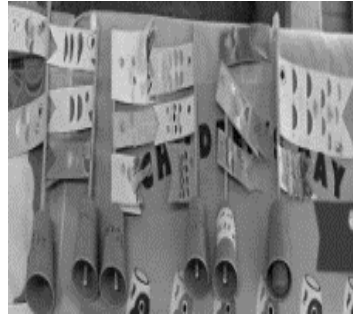
- ・校庭：ボール遊び・遊具（ブランコ・タイヤ・ジャングルジム・うんてい）・一輪車・砂場 など
- ・体育館：ボール遊び・フラフープ・バスケットボール・バドミントン など
- ・体育館2階：宿題・卓球・読書・折り紙・ぬりえ・パズル・卓上ゲーム・ブロック など

《イベントの開催》

- ① 鯉のぼり制作・・・紙コップを土台に色とりどりの鯉のぼりを作る
- ② 七夕飾りの制作と飾り付け・・・短冊に願い事を書き、体育館前の竹に飾る
- ③ ハロウィン用の制作・・・紙コップを使い個性あふれる作品を制作
- ④ クリスマス用の松ぼっくりツリーの制作・・・松ぼっくり・モール・ビーズなどを使い制作



【制作場所は体育館の玄関です】



【鯉のぼり】



【七夕飾り】



【ハロウィンの作品】



【松ぼっくりツリー】



【体育館でボール遊び】



【人気の一輪車】

◆運営委員会◆

- ・学校・PTA・後援会・地域関係者・保護者を中心に17名の運営委員により、年2回（9月・2月）学校の会議室で開催し、活動報告・新たな取り組み・問題点などの協議、審査を行っています。

◆児童クラブとのかかわり・スタッフ間の情報共有◆

- ・ほうかごところ、児童クラブ（3カ所）が共通の遊び場所（校庭）で活動をしています。子どもたちは児童クラブの子どもたちと一緒に遊んでいます。危険な遊びや子ども同士のトラブルに対しては、ほうかごところ、児童クラブの枠にこだわらずお互いに対応し、その都度報告しあい学校に報告するなどして解決しています。スタッフは毎日ミーティングを行い、情報を共有しています。

◆保護者への情報提供◆

- ・毎月中旬（8月を除く）に情報誌“ほうかごところ”を全世帯に配布しています。活動内容の紹介や活動変更のお知らせなどを中心に掲載し、「X」でも閲覧できます。
- ・体育館玄関に“インフォメーションコーナー”を設置し、活動変更のお知らせをするとともに、毎月更新でカレンダーを貼り、中長期のお知らせに利用しています。

◆安全管理の方策など◆

- ・活動開始前のスタッフミーティングなどを通じて、緊急時における参加児童の安全確保、放課後の遊び方の確認をし、学校と連携して安全に活動できるよう確認をしています。
- ・体育館2階からの落下防止策として、窓に柵の設置をし、手すりの上に防護用の網を設置するとともに、ギャラリースペースへの立入を禁止しています。
- ・参加人数に合わせ、遊びを決めています。（体育館でのバスケットボール・バドミントン等）
- ・熱中症対策として、経口補水液の常備、保冷剤の支給、水分補給、休憩の声掛けを行っています。

北小学校 ほうかごところ

◆地域や「ほうかごところ」の概要◆

北小学校は、西武新宿線新所沢駅から徒歩5分の場所に位置しています。住民の地域への思いが強く、地域の運動会、夏祭り、駅前イルミネーションなどの行事や子ども会、育成会、町会自治会やスポーツ少年団などの活動も盛んです。また、サポートスタッフや保護者の方による学校への協力も積極的に行われています。

「北小ほうかごところ」は平成16年12月に、市内2校目として開設されました。近年、放課後に外で安全に安心して遊べる場所が、徐々に少なくなっています。その中で「北小ほうかごところ」は、自由な遊びや学習などを見守ることを基本として活動しており、子どもたちは安心して、思いっきり体を動かしています。また、異年齢の子どもたちが関わり合う場でもあるので、子どもたちの心や体の成長を担っています。

◆活動場所◆

- 校庭
- 体育館
- 図書室（視聴覚室・図工室）

◆活動日・時間◆

- 原則給食のある日の放課後
- 放課後～17時30分



【校庭でタイヤ遊び】



【体育館でいろいろな遊び】



【室内での遊び】

◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	みどり	合計
児童数	87	98	101	102	108	98	30	624
登録人数	65	79	74	45	31	2	8	304
登録割合	74.7%	80.6%	73.3%	44.1%	28.7%	2.0%	26.7%	48.7%

1日あたり平均参加人数…約52人（参加率 約17.1%）（令和7年12月末現在）

◆活動内容◆

《通常の活動》

安全で安心な子の居場所づくりを目的とし、自由に遊ぶことを基本としています。子どもたちは、受付後、それぞれの場所で宿題や色々な遊びを見い出しながら過ごしています。友達と「どこで遊ぶ?」「何して遊ぼうか?」と楽しそうです。学年関係なく上級生が下級生の子と一緒に遊ぶ様子もすっかり当たり前の光景です。22年目を迎え、子どもたちはしっかりつながっています。

- **校庭**：ボール、竹馬、なわとび、遊具、砂場、ホッピングなど
『外をかけめぐりながらも、友達同士でごっこ遊び。創造力にあふれ、次から次へと遊びをみいだします。』
- **体育館**：ボール、卓球、バドミントン、フラフープ、なわとび、パカポコなど
『異年齢同士でのゲームが盛んに行われています。』
- **図書室・視聴覚室・図工室**：宿題、工作、読書、折り紙、塗り絵、ゲームなど
『七夕やクリスマスの飾りなど、一緒に手芸や工作もします。』

《イベントの開催》

スタッフで考えた企画や地域の方々のご協力を得て、イベントを行っています。

- お楽しみ会（年2回）：夏は、ヨーヨー釣り。冬は、「みんなでわいわい遊んじゃおう！」と称し、「〇×クイズ」、「言う事一緒やる事一緒」、「じゃんけん列車」を行いました。
- 折り紙（毎月1～2回）：ボランティアがテーマを決め、折り方を教わりながら素敵な作品を作っています。
- 卓球（不定期）：ボランティアと打ち合いをしたい子が、列に並んで順番を待つ日もあるほど、人気のイベントです。



【折り紙の日】



【卓球の日】



【ヨーヨー釣り】



【冬のおたのしみ会】

◆地域・学校とのかかわり◆

- 運営委員会の開催 学校・地域・PTAで組織された運営委員会を年に2回開催し、「地域立」の考え方のもと、運営について検討しています。
- みどり児童館生活クラブとの連携 北小学校の校庭は、みどり児童館生活クラブの子どもたちと一緒に使用しています。学校の遊びの決まりなどの情報を共有しています。また、合同でイベントを開催することもあります。
- 学校との連携 日々の確認はもちろんのこと、活動場所や行事等に合わせた対応の調整、様々な情報の共有にも努めています。
- 所沢図書館新所沢分館 すぐお隣の図書館の方々が、読み聞かせに来てくださり、手遊びなどでも盛り上がっています。
- 情報の発信 ほうかごところは、子どもが主役！しかし、安全・安心に遊ぶためには大人の見守りや声掛けが欠かせません。学校と保護者と地域とで子どもたちを育てるために、保護者会の開催や、年に数回の通信紙を発行しています。



【みどり児童館との合同イベント
『ドッチボール大会』】

◆安全管理◆

- 学校との連携を密にし、校内施設の使い方、緊急時の対応や日々の問題について協議しています。
- スタッフ間で月に1回の定例会議、日々のミーティングで安全管理について話し合い、意思の疎通を図っています。避難訓練も実施しました。



- ① 体育館は、緊急時すぐに開けられるように、いつも少し開けておきます。
- ② いざという時のために、エビペンの練習もします。



【図書館の方々によるおはなし会】



【震度5を想定した避難訓練】

松井小学校 ほうかごまつい

◆地域や「ほうかごまつい」の概要◆

松井小学校は、市内東部に位置し、近隣に淵の森等を有した自然豊かな地域に位置しています。

平成16年には、新校舎が完成し、令和7年度に開校151年目を迎えました。新しい校舎は、屋内運動場（アリーナ・トレーニングルーム）と「松井小学校図書館」とが一体化され、子どもから大人までが活用できるようになっています。

平成17年11月には、学校開放運営委員会に「ほうかごまつい運営委員会」が位置づけられ「ほうかごまつい」が開設しました。

令和7年度の松井小学校の学級数は20クラス（うち特別支援学級2クラス）で、児童数は486名おり、毎日50名程度の子どもたちが「ほうかごまつい」に参加しています。

◆活動場所◆

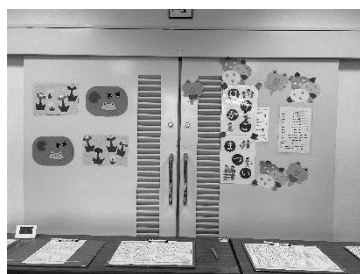
- ・校庭
- ・アリーナ
- ・トレーニングルーム
- ・読書室
- ・多目的室（場所が限定された時のみ）
- ・松井小学校図書館



【松井小学校校舎】

◆活動日・時間◆

平日（月～金曜日）給食のある授業日。授業終了後から16時30分まで



【受付】



【狭くても上手く遊びます】



【先生と一緒に遊びます】

◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	ひまわり	合計
児童数	75	85	72	90	73	78	13	486
登録人数	59	66	62	48	35	14	3	287
登録割合	78.7%	77.6%	86.1%	53.3%	47.9%	17.9%	23.1%	59.1%

1日あたり平均参加人数…約50人（参加率 約17.4%）（令和7年12月末現在）

◆活動内容◆

- ・校庭： サッカー・野球・ブランコ・鉄棒・ジャングルジム・のぼり棒・なわとび・鬼ごっこ等
- ・アリーナ： 野球・ドッジボール・バスケットボール・バドミントン等
- ・トレーニングルーム： なわとび・フラフープ・ボール遊び・だるまさんころんだ等

- ・読書室：宿題・読書・折り紙・地図パズル・ぬり絵・オセロ・将棋 等
- ・松井小学校図書館：読書・館長手作りのおもちゃで遊ぶ
- ・多目的室：上映会・自由遊び（今年度は、場所が限定された時のみ）



【ドッジボール】



【図書館で宿題】



【読書室で静かにします】

◆「ほうかごまつい」の意義◆

子どもの成長にとって「遊び」は、大切なものと言われています。しかし近年、子どもたちの周りから“3つの間”が減少し、子どもたちの成長が不安視されています。“3つの間”とは、子どもたちが自由に活動できる「時間」、子どもたちが自由に動ける「空間」、そして子どもたちが自由に関われる「人間（仲間）」のことです。

「ほうかごまつい」は、放課後の学校の施設を活用して“3つの間”を確保し、「遊び」をとおして子どもたちに創造性や社会性、人との関わりなどを育成しようとする場です。今年度は、中・高学年の参加が増えて異学年での交流がより増えています。日々の中のトラブルも増えましたが、お互いを思いやる気持ちも生まれています。アリーナでは、野球とバスケットボールが人気で毎日のように参加する子どももいます。また、校庭では寒くても元気よくサッカーや野球、鬼ごっこなど思いっきり走り回っています。

私たち10名の「ほうかごまつい」のスタッフは、子どもたちの豊かな活動の場面がこれからも展開していけるように、子どもたちの活動を見守っていきます。



【多目的室で鬼ごっこ】



【ジャングルジム】



【寒さに負けません】

◆地域とのかかわり◆

松井小学校には独自の学校開放運営委員会があります。この学校開放運営委員会は、所沢市教育委員会のモデル事業として、地域の人たちと学校が一体となり、学校施設を地域の方々に開放するという目的で設立されました。

- ・スポーツ部会 …校庭、アリーナ、トレーニングルームの施設開放窓口
- ・文化部会 …視聴覚室、多目的室の施設開放窓口
- ・図書館部会
- ・ほうかごまつい部会

の4つの部会に分かれて活動しています。この4つの部会に携わる方、またPTA、後援会、民生委員の方にも協力していただき、毎日、学校図書館の見守りボランティア活動も実施されています。

清進小学校 ほうかごところ

◆地域や「ほうかごところ」の概要◆

「清進小学校 ほうかごところ」は、平成19年2月1日に開設して以降、19年になります。清進小学校では、平成14年に学校完全週5日制に移行した時より、週末の子どもたちの居場所づくりを目指し、地域と学校が一体となってネットワーク（組織名：せいしんネット）を組み、当時から土曜・日曜いきいき教室が各種行われてきました。現在はその形を変え、教室は団体化し、せいしんネットは学校応援団の一部となりました。

「ほうかごところ」はその組織を運営母体とし、平日の放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりを目指し、開設されました。

◆活動◆



【スタッフルームで宿題】



【スタッフルームでプラレール】



【体育館でドッジボール】



【図書室で宿題、読書】



【校庭でバスケットボール】



【校庭で遊具遊び】

◆活動日・時間◆

月曜日から金曜日の授業のある日（ただし給食のない日や一斉下校など学校の指定日を除きます）

4月から9月は夏時間・・・ 放課後から17時45分まで

10月から3月は冬時間・・・ 放課後から17時まで

◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	5.6組	合計
児童数	61	97	75	82	81	86	14	496
登録人数	56	79	56	32	15	6	8	252
登録割合	91.8%	81.4%	74.7%	39.0%	18.5%	7.0%	57.1%	50.8%

1日あたり平均参加人数…約52人（参加率 約20.6%）（令和7年12月末現在）

◆活動内容◆

手を貸すことはあっても、こちらから遊びを計画したり、予め準備したりすることはしません。

できる限り子ども同士の関わりを大切に、自主的な遊びの場、異年齢児童間の交流の場として、自然発生的に起こる遊びを見守るように心掛けています。

現在、子どもたちの間で特に見られる活動や遊びは、

校庭：野球・サッカー・鬼ごっこ・遊具遊び・虫取り・なわとび・一輪車・ドッジボール・テニス、バスケットボールなど

体育館：ドッジボール・バスケットボール・バドミントン・フラフープなど

図書室：読書・宿題

スタッフルーム：宿題・ドミノ・将棋・ぬりえ・お絵かき・折り紙・紙飛行機・パズル・レゴなどが行われています。

◆地域とのかかわり◆

《運営委員会構成》

P T A・後援会の代表者、校長・教頭・教務主任、自治会長、学校応援団、児童館長、ほうかごところスタッフリーダー

《主なイベント》

学校応援団の活動には、地域の方々にも多数、ご協力いただいています。また、みどり児童館第二生活クラブのお友達も時々校庭に遊びに来てくれたり、生活クラブの指導員さんによるゲーム大会などを楽しんだり、連携を図っています。今年度は、校庭でモルック大会をしました。

◆安全管理◆

- ・低学年の利用時には、参加カードにて保護者との約束ごとの確認をしています。
- ・下校に関しては、お迎えを原則としていますが、お迎えができない場合には、保護者の責任において、下校時の安全確保の工夫や努力をお願いしています。まずは、お母さん同士の友達づくりと孤立することのない子育ての助け合いを機会あるごとに呼びかけています。
- ・活動中、スタッフは全員トランシーバーを携帯し、お迎えの対応にあたりとともに、不審者や事故などへの目配りや見守りをしています。
- ・感染症対策には、空気清浄機・空気の流れをつくるための扇風機・二酸化炭素メーターなどを取り入れています。

◆清進小学校ほうかごところの目標◆

子どもの中から自然発生的に起こる遊びは、満ち足り過ぎた環境からではなく、限られた物の中から創意工夫によって起こるものです。異年齢の子ども同士が声を掛け合って、ルールを決めたり、譲り合う心が生まれたりするのも、そのような環境の中からではないでしょうか。物を大切に作る心が育ってくれることを期待しつつ、今後も、子どもの遊ぶ力や輝く笑顔を見守っていきたいと思います。

明峰小学校 ほうかごめいほう

◆ 地域立「ほうかごめいほう」◆

明峰小学校は西武新宿線・航空公園駅西口から徒歩100歩という恵まれた立地にあります。また学区が東西にとっても広く、交通量の多い幹線道路も近くを走っています。子どもたちが安全に登下校できるようなたくさんの地域の方々が、暑い日も寒い日も雨や雪の日も、毎日通学路の辻々に立ち、子どもたちの見守りに携わってくださっています。明峰小の子どもたちは地域の人々の温かいまなざしに支えられ、すくすくと育っています。

平成19年にこの地域で開設されて以来、「みんなで子どもたちを幸せにします」をスローガンに掲げ、安心・安全が守られた遊び場であり続けるよう取り組んでまいりました。子どもたちは学級とは違う友人集団や異年齢集団の中で遊びを通してたくさんの事を経験し、学び、日々成長しています。これからも学校・地域・保護者の皆様と協力しながら、スタッフ一同で取り組んでまいります。

◆ 活動場所 ◆

活動場所は、体育館・校庭・図書室です。体育館2階にはランドセルを置くロッカーが100以上設置してあります。広く明るい空間で、宿題や読書のほかに卓球やレゴなども楽しむことができます。体育館、校庭ともにとっても広く、さまざまな遊びが展開され、1年を通じ子どもたちは汗を流して遊んでいます。図書室では読書をはじめ、塗り絵や毛糸のポンポン作り、カードゲームなどが盛んです。

<活動日>

- 月曜日から金曜日までの授業のある日。ただし、給食の無い日、一斉下校の日、その他学校活動による指定日、また活動場所の確保ができない等事情のある日は除きます。

<時間>

- 通常開設時間

授業終了時～17時30分(スタッフルームは14時から18時まで)

- ・ 児童の活動時間 17時30分まで
- ・ 片付け・掃除 17時20分から30分まで
- ・ 最終お迎え時間 17時30分



【明るく広い体育館】

◆ 登録人数 ◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援学級 かがやき	合計
児童数	76	90	92	99	85	99	11	552
登録人数	35	61	61	49	25	12	9	252
登録割合	46.1%	67.8%	66.3%	49.5%	29.4%	12.1%	81.8%	45.7%

*1日あたり平均参加人数…42名 (参加率16.6%) (令和7年12月末現在)

◆ 日常の活動内容 ◆

《施設を使つての活動》

- 体育館 フラフープ・なわとび・竹馬・バドミントン・ドッジボール・ドッジビー・一輪車・野球・バスケットボールサッカー・ボードゲーム・こま
- 体育館2階 読書・宿題・折り紙・トランプ・お絵かき・卓球ピアノ・将棋・各種ゲーム等



【受付窓口の様子】

- 校庭 砂や土遊び・鬼ごっこ・遊具遊び・サッカー
野球・ドッジボール・一輪車等
- 図書室 読書・宿題・読み聞かせ・カードゲーム・工作
毛糸のポンポン作り・折り紙等



【体育館で楽しくボール遊び】

◆ ねらいにあわせた行事・イベント ◆

＜安心・安全な遊び場であるために＞

- a スタッフの意識向上➡・今年度は隔月のスタッフ連絡会議はできるだけ短時間で実施。毎日の活動前後のミーティングで細かく情報交換と共有を行うようにした
・令和元年度より月1回(毎月20日)、校庭の安全点検を実施
- b 子どもたちの安全教育➡震災後、毎年9月に避難訓練を実施
*活動場所ごとに安全確認。その後校庭に集合して点呼をとる
*平成24年度より、NTT災害伝言ダイヤルの体験利用
*平成29年度より、学童と児童館と合同避難訓練を実施

＜子どもたちの自主性、社会性、協調性の育成をめざすために＞～異学年交流を通して～
お世話になったお兄さん、お姉さんへ

- *毎年3月“卒業おめでとう”のメッセージに模造紙を使い、子どもたちが自由に作成します。
- *毎年恒例のドッジボール大会 平成29年度より実施
高学年をリーダーとしてチーム分けをしてもらいます。
優勝チームにはスタッフからの粗品などを渡しています。



【ドッジボール大会の様子】

＜地域の方・保護者と共に＞

- a 年末イベントの実施(平成22年～クリスマスイベントとしてスタート
クリスマスの飾りづくり
*枝を使用したリース、厚紙でモールのクリスマスツリー、
CDケースのデコレーション、子どもたちのアイデア満載
の作品が毎年たくさん並びます。
*多くの保護者、子どもが参加できるよう平成23年より2日間の
イベントにしています。
*全家庭に保護者ボランティア募集のお便りを発行。
毎年多くの保護者、地域の方々に協力していただいています。
地域、保護者のみなさんから材料の寄付も沢山いただいています。



- b 「ほうかごめいほう便り」の発行
「ほうかごめいほう」の活動の様子を伝えるために、
『ほうかごめいほう便り』を隔月発行しています。
子どもたちの活動の様子や活動日程、イベントの告知などをお伝えする内容となっています。全家庭に配布するだけでなく、「ほうかごめいほう」を地域の皆さんに広く知っていただくために、校区への回覧もお願いしています。



【クリスマスイベント】

◆ 学校・地域との連携・協力 ◆

学校とは毎日連絡を取り、施設や遊具が安全であるかの確認を密に行っています。活動の中で様子の気になるお子さんについては、必要に応じ先生方に相談できる体制を、また体調が悪くなった児童、怪我をした児童についても養護教諭に相談できる体制を取っています。

また、年3回の4施設(学校・学童・児童クラブ・ほうかごめいほう)会議では子どもたちのよりよい支援につなげるために、各施設と情報や課題を共有しています。

保護者や地域の皆様も温かく見守ってくださり、布や毛糸、一輪車など子どもたちの使う遊び道具を数多く寄付していただいています。とても感謝しています。

若松小学校 ほうかごわかまつ どんぐりキッズ

◆地域や「ほうかごところ」の概要◆

若松小学校は、日本一長いけやき並木の国道に添い、所沢航空記念公園に隣接する地域を学区とする緑豊かな場所にあります。「どんぐりキッズ」は、「わが校・わが町に子どもたちが安心して遊べる安全・安心な居場所を…」との地域・保護者からの願いから平成20年6月に開設しました。開設以来、放課後の安全・安心な居場所として多くの子どもたちに利用されています。

ほうかごわかまつでは、季節にあったイベント行事や工作会を行っています。1年生から6年生が学年の壁、地域の壁を超えて交流を深められる安心な居場所として、子どもたちが楽しく充実した放課後の時間を過ごせるよう見守りをしています。

◆活動場所◆

- ・スタッフルーム
(北校舎1階教室… 畳・じゅうたん敷)
- ・どんぐりキッズルーム
(北校舎1階教室… スタッフルームとなり)
- ・校庭
- ・体育館



◆活動日・時間◆

- ・月曜日から金曜日の給食のある日
1年を通して、下校時刻から17時30分まで



◆参加方法◆

- ・全学年、保護者のお迎えをお願いします。
- ・全学年、お迎え時間が記入された「参加カード」を持って参加します。
- ・1年生・2年生は、朝登校時に参加カードを提出箱に出します。

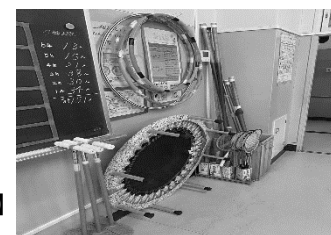
下校時に一人になってしまう児童がいないかの確認を、先生にも把握できるように、また参加予定を忘れて下校しないよう事前確認のために、1年生・2年生は、朝の登校時に参加カードを提出箱に出します。

- ・当日参加確認ボードの名札を表示し、どんぐりバッチを付けてから放課後の時間を過ごします。
- ・活動時間内は、スタッフ全員が「トランシーバー」を持ち、スタッフ間の連絡を取っています。



【若松小キャラ
元気っ子&どんぐり】

【貸出遊具もたくさんあります。】



◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
児童数	50	51	59	56	45	67	328
登録人数	42	40	36	23	19	8	168
登録割合	84.0%	78.4%	61.0%	41.1%	42.2%	11.9%	51.2%

1日平均参加人数…約37人(参加率 約22.0%)

(令和7年12月末現在)

◆活動内容◆

- ・校庭では、野球・サッカー、遊具遊びや縄跳び、鬼ごっこ、一輪車、砂場遊びなどを行っています。校地内にある学童クラブの子どもたちとも一緒に楽しい時間を過ごしています。
- ・体育館では、バスケットボール・バドミントン・トランポリンなどの室内運動を行っています。みんなが声を掛け合って行うドッジボールは、全学年みんなで盛り上がります。雨天日の活動は、学童クラブと体育館を半分に分け活動しています。
- ・スタッフルームでは、宿題をしたり、ブロックやオセロ・トランプ・塗り絵、日本地図パズルなどの学びゲームなどで遊んだりします。
- ・季節に合わせてイベント会を開催しています。今年度は、水祭りを7月に開催し110人の子どもたちの参加があり、水風船玉入れ・スーパーボールすくい・水運びリレーを楽しみました。



【クリスマスには、みんなでビンゴを楽しみました】 【水祭りでは、1000個の水風船の玉入れで大盛り上がりです！】

◆工作会◆

はさみが上手に使えない子・立体空間作りが苦手な子
 いろんな子が集まる中、日頃 家庭ではできない事を体験させたい！
 そんな思いもあり工作会を行っています。
 染粉・絵の具・ボンドや粘土など、汚しても大丈夫！失敗しても大丈夫！思いっきりやってみよう！
 子どもたちに「経験を！」を念頭にスタッフみんなで準備します。
 子どもたちの想像力は無限大です。思い思いの作品に感動します。



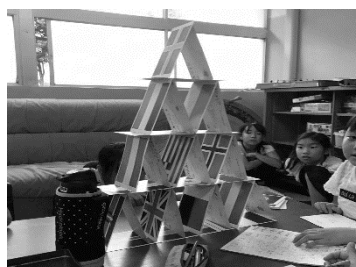
<季節のイベント・工作会>

7月 水祭り・七夕飾り
 12月 クリスマスリース 工作会
 お正月 午年お飾り 工作会
 2月 カラーソルト 工作会

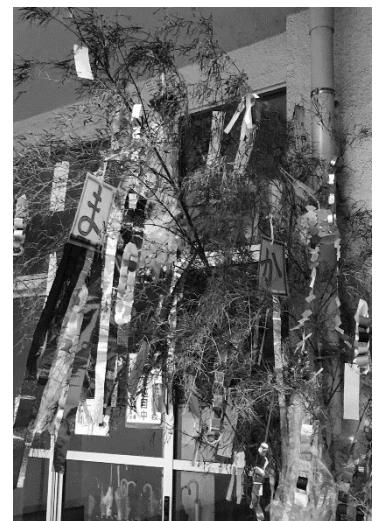
【今年の干支はくま】いろんな表情の馬が出来上がりました！】



【クリスマスには、お芋のつるを丸めたリースに飾りをつけました】



【みんなでカードタワーを建てました】



【毎年、地域の方から大きな笹を頂きます。子どもたちの願い事！
 叶いますように…】

北秋津小学校 ほうかごところ とんぼキッズ

◆地域と「ほうかごところ とんぼキッズ」の概要◆

今年度開校50周年を迎えた北秋津小学校は、所沢駅東口の東南部を学区とし、駅から徒歩10分圏内に位置しています。現在、学区域では北秋津・上安松土地区画整理事業による大規模道路整備工事、宅地造成工事等が行われており、小学校に隣接する農地や樹林地が道路、宅地、商業施設に生まれ変わったことで、校庭からの景色も一変しました。建設、販売が進んでいる戸建住宅やマンションなどの物件を合わせ令和8年4月には約500世帯が増える計画であることから、今後児童数の増加も見込まれています。



「ほうかごところ とんぼキッズ」は平成20年(2008年)11月17日に開所し、18年目に入りました。毎日子どもたちはルールを守りながら、自主的に宿題をしたり友達と遊んだりして過ごしています。また、日々の活動の中で地域のボランティアの皆様「折り紙」「英語」「将棋」「タイピング」をご指導いただいております。更に近隣のクラーク記念国際高等学校所沢キャンパスの生徒さんたちも継続的にボランティアとして携わってくれています。



【ほうかごところ室外観】

◆活動場所◆

ほうかごところ室(南校舎1階)、校庭、体育館、図書室

◆活動日・時間◆

原則として給食のある日(ただし、一斉下校などの特別な事情のある日は除きます。)

- ・4月～10月: 授業終了後～17時30分
- ・11月～3月: 授業終了後～17時

◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	あおぞら	合計
児童数	59	67	65	76	66	87	11	431
登録人数	57	53	53	42	21	25	7	258
登録割合	96.6	79.1%	81.5%	55.3%	31.8%	28.7%	63.6%	59.9%

1日あたり平均参加人数…約36人(参加率 約14.0%) (令和7年12月末現在)

◆活動内容◆

子どもたちは活動場所ごとのルールを守りながら、自主的に過ごしています。自分たちで遊びを工夫したり、自然と異学年の友達と一緒に遊んでいたりと、校庭では児童クラブの友達や放課後に遊びに来た友達と仲良く遊ぶ姿が見られます。

ほうかごところ室	宿題、読書、工作、写し絵、折り紙、将棋、オセロ、ブロック、ボードゲーム、けん玉、こま、UNO、パズル、オルガン、タイピング講習など
校庭	サッカー、バスケットボール、一輪車、縄跳び、砂場遊び、校庭遊具など
体育館	バスケットボール、ドッジボール、バドミントン、フラフープ、鬼ごっこなど
図書室	読書、英語活動など

◇イベント活動◇

事前に通信やポスター、黒板にて告知し、自主的な参加型イベントを開催しています。今年度は、CDケースの内側にストローで迷路を作り、大きめなビーズを転がして遊ぶ「シャカシャカめいろ」工作（4月）、アルミホイルやモールで手作りした枠を使った「しゃぼんだま」（7月・9月）、学校のご協力の下、緑の学校ファームの一角をお借りして「じゃがいもほり」（7月）、スタッフが出題した場所を見つけ出す「フロッタージュたんてい」（11月）、まつぼっくりを絵の具やビーズなどで飾り付けする「まつぼっくりアート」工作（12月）などを開催しました。



【シャカシャカめいろ作り】



【枠を手作りして、しゃぼんだま遊び】



【スタッフが丹精込めて育てたじゃがいもで収穫体験】



【まつぼっくりあーと作り】



◇ボランティアによる活動◇

毎月1回から3回程度「折り紙の日」「英語の日」「将棋の日」「タイピング講習の日」を設けて、地元のボランティアの方々にご指導をいただいております。また、近隣のクラーク記念国際高等学校所沢キャンパスの生徒さんたちが週に1回程度、宿題を見たり一緒に遊んだりしてくれています。



【折り紙の日】



【英語の日】



【将棋の日】



【タイピング講習】

◆学校、児童クラブ、学童クラブとのかかわり◆

- ・学校と放課後3団体（児童クラブ、学童クラブ、ほうかごところ）の打ち合わせ会を毎月開催し、子どもたちの様子や学校行事に関することなどをお互いに共通理解するよう努めています。
- ・活動の状況、子どもたちの様子などを毎日各スタッフが業務日誌に記録して学校へ報告し、担任の先生方とも情報の共有を図るよう努めています。
- ・今年度も児童クラブ利用者全員が、とんぼキッズに登録しています。夏休みや冬休みには児童クラブの活動でほうかごところ室を利用しています。またボランティアの方々のご協力により、折り紙、英語、タイピング講習の活動に児童クラブからも希望者が参加できる仕組みにしています。
- ・開所当時から毎月1回「とんぼキッズ通信」を発行し、全保護者宛に配布しています。

若狭小学校 ほうかごわかさ

◆地域や教室の概要◆

若狭小学校ほうかごわかさは西武線狭山ヶ丘駅南東約400mに位置し、6自治会(若狭1丁目～4丁目、三ヶ島8区・11区)を中心に児童が通ってきます。

放課後の児童の活動場所は、自宅や友人宅、自宅前の路地や公園、児童館や学童保育、狭山ヶ丘コミュニティセンターや図書館、若狭小学校校庭、習い事の教室等となっています。このような状況の中、児童の受け入れを平成21年11月から開始しました。

また、放課後の児童の活動内容は、宿題、習い事、遊び、保護者との活動(買い物や用事の手伝い等)となっています。

地域特性をふまえ、開設当初から「放課後の子どもの居場所づくり」を中心テーマにし、多くの子どもたちが利用し、活動を広げ、また、活動を繰り返していくことで次の世代へつないでいく場所になることを念頭に運営してまいりました。



◆活動場所◆

名 称	概 要
ほうかごわかさ ル ー ム	室内は、日々の利用受付、保護者お迎え時の児童の待機場所として利用します。スタッフルームも兼ねていますが、スタッフの作業スペースをコーナーに限定し、児童の活動場所を広くしています。畳のコーナーもあり、宿題もここで行います。
校 庭	授業時間以外で雨天以外に利用します。晴天でも、朝礼台に「使用禁止」の旗が立っている時は利用できません。ボール等の道具類はほうかごわかさ所有のものを使用しブランコ等学校常設の遊具は利用させて頂いています。
体 育 館	授業時間以外で利用します。ボールなどの道具類の使用は、ほうかごわかさ所有のものとは併用しています。バスケットのネット等学校常設の設備は利用させて頂いています。
図 書 室	授業時間以外で利用します。図書の貸し借りはできません。
学 習 林	授業時間以外で雨天以外に利用します。

上記5場所のうち最大4場所までを一日の開放場所とし、スタッフ5人のうち一人が各所を見回るようにしています。

◆活動日、時間◆

給食のある日の放課後 (一斉下校は除きます)
授業終了後～17時30分まで(通年)

◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	あゆみ	合計
児 童 数	70	64	77	80	86	105	9	491
登録人数	40	37	35	32	29	6	5	184
登録割合	57.1%	57.8%	45.5%	40.0%	33.7%	5.7%	55.6%	37.5%

1日あたり平均参加人数・・・約35人(参加率 約19.1%)

(令和7年12月末現在)

◆活動内容◆

子どもは、放課後自宅へ戻らず、ほうかごわかさにランドセルを背負って利用しに来ます。

受付で参加カードを提出し、スタッフと「今日は何時までの利用だね」と確認し合います。同時に、参加の証明として腕につけるゴムバンドを渡されます。

その後児童は、ランドセルを所定の場所に置き、活動を開始します。

この時、黒板には児童の名前を書いたマグネットが配置されているので、これを、活動場所に移動するようにします。

これにより、現在自分がどこにいるかの確認と、その場所に誰がいるかの確認ができ、スタッフと子どもにとって有効なサインとなっています。

宿題をしてから遊ぶ子、遊んでから宿題をする子と、参加のスタイルは様々です。また、異年齢でも一緒にいる光景がよく見られます。

ほうかごわかさでは、中高学年をリーダーとした活動を心がけるようにしています。

様々な課題はありますが、これからも放課後の子どもの居場所づくりに力を合わせていきます。



【名前付き磁石】

◆今後の課題◆

●児童の対応

参加人数が多い日の場所の確保
ボランティア 地域の方との連携

●一年のサイクルを考える

学校行事や地域の行事、また、保護者からの問い合わせ等、年間を通じて必要なことを計画的に配置していく姿勢が課題です。

●学校応援団すずかけネットとの連携

今後も地域と連携していきたいと思えます。

季節ごとに塗り絵を描いています。



【ハロウィーンのぬり絵】



【クリスマスツリー】

林小学校 ほうかご・はやし

◆地域や「ほうかご・はやし」の概要◆

林小学校は、林という名のごとく、三ヶ島の緑豊かなこの地に、昭和51年4月に三ヶ島小学校と若狭小学校の児童数の増加により、開校しました。国道463バイパスの開通に伴い、新興住宅地や集合住宅の開発が進み、児童数も一時期は1,600名を超え、39学級まで増大した学校です。現在は、学級数15（うち特別支援学級4）、児童数427名の学校規模です。

今年50周年を迎えました。50年という月日が経つ中で、地域環境も大きく変化し、民間マンション、一戸建て住宅も増加し、住民の故郷意識も高まってきています。林小学校も地域に浸透し、地域の学校として活力ある教育活動が実施され、思いやりのある、心豊かな子どもが育ってきています。学校への地域の協力も多く、サポートスタッフということで、見守り隊、サマースクール、本の読み聞かせ（絵本の部屋、かしの木）、学校運営協議会など、多くの方々にお世話になっています。

「ほうかご・はやし」は、平成21年11月に開設され、子どもたちが校庭・体育館・「ほうかご・はやし」ルームを中心に遊んでいます。



【ほうかご・はやしルーム】

◆活動場所◆

- ・校庭・体育館
- ・ほうかご・はやしルーム

◆活動日・時間◆

- ・給食のある日、学校の指定日（入学式・卒業式・一斉下校・引取り訓練等）を除く
- ・通常授業日 放課後（4月～9月）～17時30分まで
（10月～3月）～17時00分まで

◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	ひばり	合計
児童数	51	72	65	71	89	56	23	427
登録人数	25	36	9	10	8	2	1	91
登録割合	49.0%	50.0%	13.8%	14%	9.0%	3.6%	4.3%	21.3%

1日あたり平均参加人数…約14人（参加率15.4%）（令和7年12月末現在）

◆活動内容◆

- ・校庭：ボール遊び（サッカー・野球・ドッジボール・バスケットボール等）
タイヤとび・一輪車
遊具（ブランコ・ジャングルジム・鉄棒等）・砂場遊びなど
- ・体育館：バスケットボール・ミニ野球・バドミントン・フラフープなど
- ・ほうかご・はやしルーム：宿題・本読み・折り紙・パズルなど



【宿題したり遊んだり】



◆イベント◆

- ・ 6月 プチ夏まつり（輪投げ・わかすくい・ピンポンバスケ）
- ・ 12月 クリスマス会（プレゼントほいほい・空気砲・おたからつり・くじ引き）



【プチ夏祭り】



【クリスマス会】



◆子どもたちの流れ◆

- ・ 朝、保護者と「ほうかご・はやし」で遊ぶことと帰りの時間を約束します。
- ・ 授業終了後、荷物を持って「ほうかご・はやし」ルームに来ます。
（手を洗ってから）
- ・ 「参加カード」を提出し、名簿のチェックをします。
（アルコール消毒）
- ・ ワッペンをつけて荷物を置きます。（ワッペンと同じ番号のロッカーを使用。）
- ・ 決められた場所で宿題をしたり、好きな遊びをしたりします。
- ・ 保護者は引き取りのサインをして、一緒に帰ります。



【ただいまー】



【手洗い！】



【アルコール消毒！】

◆感染予防対策◆

- ・ スタッフの検温・手洗い・アルコール消毒。
- ・ 子どもたちの手洗い・アルコール消毒。



【お迎えは窓越しで】



◆安全管理◆

- ・ 緊急時における安全の確保について、学校とスタッフ間で確認しています。
- ・ 学校と放課後の玩具の使い方、遊び方などを話し合い、連携を取っています。
- ・ 保護者にお迎えと名札着用の徹底をお願いしています。

南小学校 ほうかごみなみ

◆地域や「ほうかごみなみ」の概要

南小学校（旧吾妻尋常高等小学校）は、所沢駅の西南部を学区とし、明治7年に開校した古い歴史をもつ学校です。

都市化が進み、公園など子どもたちの遊べる場が少なくなり、子どもの放課後の安全で安心な居場所として、2010年10月「ほうかごみなみ」を開設し、15年が経ちました。

1年生から6年生の子どもたちが一緒に遊び関わることで、子ども同士のルールを学び、心や体の成長に役立っています。卒業生が遊びに来てくれることもあります。校庭では、所沢市児童クラブ『KIRACCO所沢』『ひだまりみなみ』の子どもたちも利用しており、交流の場になっています。また、見守る大人の目が増えることにより、ますます子どもたちが安心して遊べる場所になっています。

月1回、学校とスタッフで会議をし、状況報告や情報交換等をおこない、「どの子も我が子、どの子も同じように」スタッフ10名で、子どもたちが元気に楽しく遊べるように見守ります。

◆活動場所◆

- ・校庭
- ・体育館



【体育館にあるスタッフルーム前で受付】



【ランドセルは体育館2階のロッカーへ】

◆活動日・時間◆

- ・開設日 平日（月～金曜日）給食のある授業日（特別事情のある日は除きます）
- ・開設時間 放課後から17時30分

◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
児童数	107	117	136	114	112	134	720
登録人数	57	59	62	35	10	4	227
登録割合	53.3%	50.4%	45.6%	30.7%	8.9%	3.0%	31.5%

1日あたり平均参加人数…約31人（参加率13.7%）（令和7年12月末現在）

◆活動内容◆

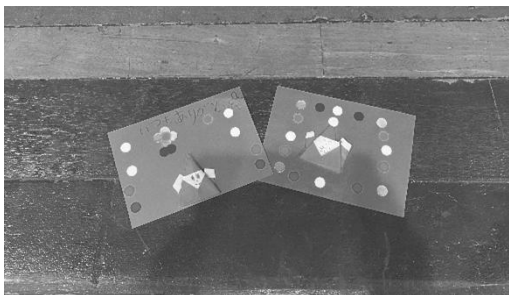
- <校庭> 一輪車、ドッジボール、サッカー、鬼ごっこ、泥団子、遊具遊び、紙飛行機など
- <体育館> 1階 ドッジボール、バスケットボール、マット遊びなど
- 2階 宿題、折り紙、塗り絵など

◆子どもたちの流れ◆

- ・授業終了後、保護者がお迎え時間を記入した参加カードを持ち、体育館内スタッフルーム前で受付をします。
 - ・参加カードと引換えに、名札と名前を書いたマグネットを受け取ります。
 - ・遊べる場所を表示したホワイトボードにマグネットを貼り、体育館2階の棚に荷物を置きます。
 - ・校庭や体育館で自由に遊びます。
 - ・夕方17時のチャイムが鳴ると、校庭で遊んでいる子どもたちは体育館へ戻ります。帰りの支度をして体育館1階で保護者のお迎えを待ちます。
- ※17時のチャイムは、その月のイメージに合わせた曲か、南小学校のキャラクター『みなみん』の絵描き歌を流しています。

◆学校・地域との協力、イベント

- ・季節に応じた遊び
- ・卒業生のお姉さんと一緒に楽しくダンス
- ・落ち葉掃き
- ・折り紙でサンタクロスやクリスマスカード作り



【折り紙で作ったクリスマスカード】



【上手に作った泥団子】



【ほうかごみなみ専用の一輪車】

◆安全管理◆

- ・保護者のお迎えを徹底します。
- ・緊急時における安全の確保について、学校と連携を取ります。
- ・危機管理マニュアルの作成をしています。
- ・遊具の使い方、遊び方などは、スタッフが危ないなと思ったときには声をかけます。
- ・手洗いの声掛けをします。

◆保護者、地域に向けて◆

- ・「ほうかごみなみつうしん」を毎月発行し、保護者の方々へ活動内容をお知らせしています。
- ・日頃から、スタッフや子どもたちから挨拶をすることで、地域の皆様との繋がりを大切にしたいと思います。

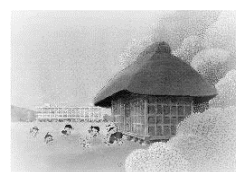
中富小学校 中富ほうかご広場

◆地域や教室の概要◆

中富小学校は、周囲が三富の畑や雑木林に囲まれた自然豊かな学校です。歴史は古く、平成27年度に創立140周年を迎えました。

中富ほうかご広場は、中富小放課後児童対策一体運営事業の一つとして、中富小児童クラブとともに平成27年4月にスタートしました。中富小の子どもたちの、放課後の安全で楽しい遊び場となるよう「中富ほうかご広場」と名付けられ、児童クラブとともにこども未来部青少年課が所管しています。平成30年度から民営化に伴い、株式会社コマームが運営しています。

日々の活動のほか、保護者や地域の方々の協力をいただき、季節行事や様々な学習、体験の機会を設けています。



◆活動場所◆

- ・多目的室（特別教室棟一階）
- ・図書室（特別教室棟一階）
- ・体育館
- ・校庭 他



【バレーボール大会】



【カブラの日】

◆活動日・時間◆

- ・活動日 原則として、学校で給食のある日
- ・活動時間 4～9月：各学年の下校時刻～17時30分
10～3月：各学年の下校時刻～17時00分

◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援	合計
児童数	29	42	29	47	44	38	5	234
登録人数	15	25	20	24	13	15	1	113
登録割合	51.7%	59.5%	69.0%	51.1%	29.5%	39.5%	20.0%	48.3%

1日あたり平均参加人数…約33人（参加率 約29.2%）（令和7年12月末現在）

◆活動内容◆

<通常の活動>

「中富ほうかご広場」では、毎月の参加予定表を保護者から提出していただき、子どもたちの参加予定を把握しています。

当日、参加予定の子どもは、担任の先生に参加カードを提出します。

参加カードは先生を通じてほうかご広場のスタッフの手に届けられ、当日の参加者を確認します。

放課後、子どもたちは特別教室棟一階ホールで受付をして、活動中に着用するビブス（ベスト）を受け取ります。荷物を所定の場所に置いて、ビブスを着たら活動開始です。

それぞれの場所では、主に以下の様な活動をしています。

【多目的室】 全学年が下校になるまでは、全員がこの部屋で過ごします。宿題、ぬり絵、お絵かき、ボードゲーム、オセロ、人形遊び、UNO、トランプなどで遊びます。

【図書室】 読書をして過ごします。

【体育館】 バドミントン、縄跳び、フラフープ、ドッジボール、バスケットボールなどで遊びます。

【校庭】 遊具遊びや砂遊びをしたり、サッカー、野球、ボール遊び、ドッジビー、縄跳び、鬼ごっこなどをしたりしています。



<特別な遊びができる日>

週に3～4回程度、特別な遊びができる日を設けています。

これまでに、一輪車の日、卓球の日、工作の日、カプラ（積み木）の日、トミカの日、折り紙の日、お手玉の日などを実施しました。その日を楽しみに参加する子どもも多く、これからも定期的実施していく予定です。



【お手玉の日】

◆イベントの開催◆

下校の早い日や季節の節目などにイベントを開催しています。お楽しみ会のようなイベントだけでなく、保護者や地域の方々などの御協力を得て、様々な学習や体験の場を設けています。

【1学期】オセロ大会、七夕飾り作り、避難訓練、お楽しみ会など

【2学期】防災訓練、ハロウィン、オセロ大会、大掃除の日など

【3学期】まゆ玉作り、節分、避難訓練、ひな飾り作り、お楽しみ会など

<子ども運営委員会>

短縮授業の日に、5・6年生で構成された子ども運営委員が勉強を教えたり、レクリエーションを考え、主体となってイベントを開催しています。【子ども運営委員-勉強会-】



◆地域・学校等とのかかわり◆

<運営委員会の開催>

地域や学校の代表で構成された運営委員会を年に2～3回開催し、広場の運営について検討しています。その他、委員の方々には、イベントの開催などにもご協力いただき、特に伝統的な行事・遊び（まゆ玉作りなど）についてはスタッフも教えていただいています。

<中富小祭りへの参加>

P T A主催の「中富小祭り」に参加し、体育館で子どもたちが遊べるゲームコーナーを催しました。

<ボランティアの受け入れ>

地域の方のご協力により、月に1回程度「折り紙の日」を実施し、子どもたちに様々な折り紙の折り方を教えていただいています。

その他にも「紙芝居の日」や「お手玉の日」を実施しました。



【団子を丸めてまゆ玉飾り♪】

◆中富小児童クラブとの連携◆

「中富ほうかご広場」は、中富小放課後児童対策一体運営事業として、「中富小児童クラブ」と連携して実施しています。日々の活動では、児童クラブの子どもたちも広場に参加し、広場の子どもと一緒に遊ぶことができます。また、様々なイベントは合同で開催し、それぞれのスタッフが協力して実施しています。

◆安全管理◆

- ・学校と定期的に話し合いを行い、校内施設の使い方や緊急時の対応について協議しています。
- ・スタッフ間で、日々の安全管理や緊急時の対応について話し合い、意思疎通を図っています。
- ・活動中は、各活動場所に必要な人員を配置し、スタッフはトランシーバーで連絡を取り合います。

荒幡小学校 ほうかごところ ほうとこ荒幡

◆地域や教室の概要◆

荒幡小学校ほうかごところ「ほうとこ荒幡」は、令和7年3月31日に閉園した所沢市立所沢第二幼稚園の跡地を活用し、令和7年4月10日に開所いたしました。他のほうかごところと異なり、荒幡小学校から徒歩5分程度の離れた場所に位置しています。周辺には荒幡富士や市民の森があり、緑豊かな地域です。

ほうとこ荒幡では、地域やボランティアの方々に支えられ活動しています。図書ボランティアの方は図書室の開放と読み聞かせを月に3～4回開催してくださっています。また、山口中学校の中学生ボランティアは、定期的に関連大会や折り紙教室、なわとび教室を開催、またイベントなどでも一緒に遊び活動してくださっています。

地域・学校・ボランティアと連携しながら、子どもたちの自主的な遊びを尊重し、放課後の安心・安全な居場所づくりを目指します。

◆活動場所◆

第二BASE（旧所沢第二幼稚園）内スタッフルーム、ほうとこルーム、園庭、ホール（雨天や猛暑時で園庭が使用不可の時）、2の部屋（イベント時）、図書室（ボランティア活動時）

◆活動日・時間◆

活動日 : 学校で給食のある日

活動時間 : 下校後から17時30分まで

※お迎えなし（4年生以上）の場合は11月～3月は16時30分まで

◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	ひまわり	合計
児童数	51	45	45	59	56	64	10	330
登録人数	20	21	19	20	11	8	5	104
登録割合	39.2%	46.7%	42.2%	33.9%	19.6%	12.5%	50.0%	31.5%

1日あたり平均参加人数…約19人（参加率 約18.3%）（令和7年12月末現在）

◆活動内容◆

スタッフルーム：受付やお迎えに来られた保護者へ参加カードの返却をします。

園庭：砂場や太鼓橋、鉄棒などがあります。一輪車や竹馬などでも遊びます。

ほうとこルーム：子どもたちがランドセルを置いて手洗い後、宿題やカードゲーム、ピアノを弾くなど、好きな時間を過ごします。

2の部屋：人数が多い時や工作などのイベント時に活動することがあります。

ホール：雨の日や猛暑日などにより、園庭が使えない時に活動します。また、参加人数の多いイベント時にホールで工作やゲームをします。

図書室：ボランティアの方が来てくださった時に開放し、読み聞かせなどを行っています。

◆主なイベント◆

ほうとこ荒幡では、子どもたちからの意見を取り入れて、地域の方や中学生ボランティアの協力を得ながらイベントを開催しています。7月によさこい練習会、7月と10月はスライム工作、12月はクリスマス会を開催しました。クリスマス会では、ほうとこ6年生がゲームを考えてくれて当日を盛り上げてくれました。また、月に1回程度、スタッフによる工作会を行っています。

12月からは中学生ボランティアが主体となって、リレー大会や折り紙教室を開催しました。1月は「目指せ、なわとび名人」と称してなわとびの記録会を予定しています。



【スライム工作の様子】



【荒幡夏祭りに向けて
よさこい練習】



【学年混合、リレー大会】



【クリスマス工作、
ストローで星飾り作り】

◆地域・学校・ボランティアのかかわり◆

所沢第二幼稚園の時から地域や卒園生の繋がりを引き継ぎ、運営委員会やボランティア活動などでご協力いただいています。ほうとこ荒幡通信を、定期的に学校を通して配信しています。地域の方々や学校と情報共有して連携しています。



【卒園生による
ボランティア活動】



【工作会のお手伝い】



【学校の先生も時々様子
をみにきてくださいます】



【図書ボランティアに
よる読み聞かせ】

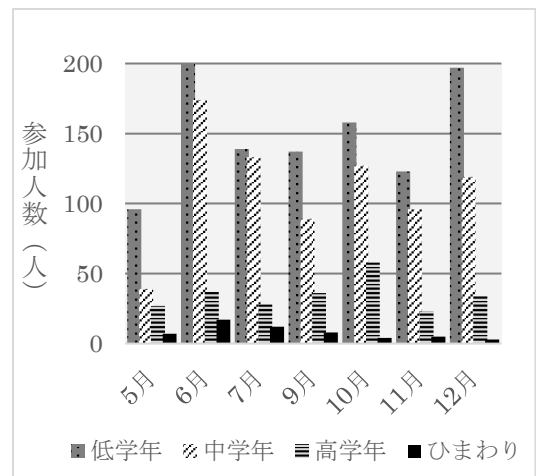
◆月別・学年グループ別の参加状況◆

令和7年度5月の受け入れより2週間は隔日で参加できるプレオープンを経て、5月下旬からの通常活動のため、6月より参加人数が急増しました。

7月は夏休みを含み、活動日数が少なかったため、月あたりの参加人数は減少したものの、短縮授業やイベント開催で1日あたりの参加人数は平均約21人と多かったです。

12月も冬休みを含み、活動日数は少ないものの、クリスマス会を連日開催したこともあり、6月の次に参加人数の多い月となりました。

学年グループは低学年、中学年、高学年にわけると、低学年が全体的に最も多い参加人数となりました。学年が上がるにつれて、参加人数は減っている傾向がありました。



【月別・学年グループ別の参加状況】

三ヶ島小学校 ほうかごところ むくろじキッズ

◆地域や教室の概要◆

三ヶ島小学校は、明治35年(1902年)開校の伝統校で、豊かな自然(狭山茶畑)に囲まれ、むくろじの木がシンボルです。所沢市の西に位置し、広い学区から子どもたちが通っています。

教育目標「みんなやさしく かがやいて じょうぶな体 まじめな子」を掲げ、体験活動を重視し、青い目の人形など歴史も豊かで、地域との連携を大切にする温かい雰囲気の学校です。

ただ、自然豊かであっても遊び場が少ない、通学時間が30分以上かかる子どもの遊ぶ時間がない、預け先のない共働き家庭は各家庭で居場所づくりをしてきたことから、令和7年度4月より、学校を拠点にした地域で見守れる安心・安全な居場所作りとして、シンボルツリーの名をとって「むくろじキッズ」というほうかごところを開設するに至りました。

◆活動場所◆

- 体育館2階
- 体育館1階
- 校庭
- 図書室(レインボールーム・スカイルーム)
- スタッフルーム



【異学年でドッジボールする様子】



【体育館2階の様子】



【校庭での見守りの様子】

◆活動日、時間◆

- 原則、給食のある月曜日から金曜日
- 授業終了後から17時30分まで

◆登録人数◆

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
児童数	39	47	43	45	46	50	270
登録人数	21	26	22	33	32	25	159
登録割合	53.8%	55.3%	51.2%	73.3%	69.6%	500%	58.9%

1日あたり平均参加人数…約40人(参加率 約15.2%)

(令和7年12月末現在)

◆利用方法◆

保険加入登録をすれば、「ほうかごところ」に参加する日・時間などは自由です。

当日は下校せず、スタッフルームに参加カードを提出し、学校のルールに従い、決められた活動場所で遊びます。

◆活動内容◆

- 体育館 2 階： 宮大工さんが製作したロッカーがあり、ランドセル置き場として活用しています。むくろじ文庫やミニ応接間もあります。
座卓で宿題をしたり、塗り絵やボードゲームなどで遊んだりしています。
また、応接間用のソファでくつろいだりしています。
- 体育館 1 階： ドッジボール・バドミントン・バスケットボール・バレーボール・フラフープなどをして遊んでいます。ポッチャやモルックなども用意してあります。
- 校庭： 一輪車・サッカー・野球・鬼ごっこ・遊具遊び・砂場・縄跳び・虫取り・花摘みなどをして遊んでいます。
- 図書室： レインボールームとスカイルームの2部屋を利用できます。6時間目の授業で体育館や校庭が利用できない時の1・2年生の活動場所にもなります。宿題や折り紙などをして過ごしています。
- スタッフルーム： ケガの応急処置やお手伝いしたい子どもたちの受け入れの他に、貸出できないハサミやセロテープを使った工作、電子ピアノや木琴などの演奏をしています。

*初年度は、子どもたちが自主的に遊ぶための見守りを重視し、イベントなどは、次年度以降に取り入れていく予定です。

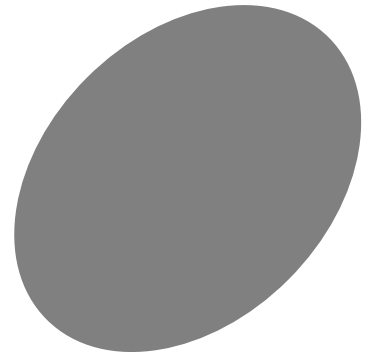
◆安全管理◆

- ・活動場所点検…立入禁止区域にはネットを張り、週末は外部団体の立ち入りをご遠慮いただいています。
- ・遊具等の点検…校庭には枝や石などが落ちていることがあるため随時見回りをしています。
ボールや一輪車の空気入れを行っています。
- ・感染対策…換気を行い、養護教諭への相談や情報共有すること、インフルエンザ等学級閉鎖になった場合は、学校の連絡に従います。
- ・熱中症対策…子どもたち及びスタッフ共に各自水筒を持参してもらい、水分補給の声かけ、保冷剤と濡れタオルで冷却または清拭してもらう、冷房の効いた図書室の利用などを促しています。
- ・下校…原則保護者のお迎えをお願いしていますが、3年生以上は、防災行政無線の音楽放送がかかる前であれば、兄弟や近所の友達同士で下校することができます。

*毎日スタッフミーティングを行い記録しています。また、必要に応じて学校や保護者とも情報を共有しています。

◆地域・学校とのかかわり◆

今年度は、スタッフが運動会や音楽会参観、除草作業への参加、PTA主催のお祭りに出店するなどをしました。また、学校との運営委員会会議開催、三ヶ島学童クラブのスタッフの方への見学会も行いました。今後は、学童クラブの子どもたちと交流できる機会や近隣の学校からのボランティア活動をお願いしたいと考えています。



所沢市放課後支援事業 「ほうかごところ」 関連資料



所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」実施要綱

放課後支援事業実施要綱（平成15年4月1日施行）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この要綱は、埼玉県放課後子ども教室推進事業等実施要綱（平成19年4月1日施行）に基づき、所沢市で実施する所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」（以下「事業」という。）について必要な事項を定めるものとする。

（事業内容）

第2条 事業は、児童の安全・安心な居場所を確保するとともに、創造性、自主性、社会性等を養うため、異年齢児間の遊び及び学びを通じた交流を促進し、地域住民による児童の健全育成を図るものとする。

（運営委員会）

第3条 事業の安全かつ円滑な運営を行うために、事業を実施する小学校（以下「実施小学校」という。）に放課後支援事業「ほうかごところ」運営委員会（以下「運営委員会」という。）を設置し、運営方針等を決定する。

2 運営委員会の委員は、次に掲げる者のうちから、所沢市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱し、又は任命する。

（1） 実施小学校のPTA代表者

（2） 実施小学校長

（3） スタッフリーダー（次条に規定する放課後支援員のうち、事業実施に必要な調整等を行う者として適任である者）

（4） その他運営委員会が必要と認めた者

（実施体制）

第4条 事業は、運営委員会が決定した運営方針に基づき、放課後支援員が行うものとする。

2 放課後支援員は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第22条の2第1項第1号に規定する会計年度任用職員とする。

3 運営委員会は、必要に応じて、放課後支援員を補助するボランティアを募ることができる。

（実施場所）

第5条 事業は、実施小学校の校庭、体育館、多目的室等の施設又は児童が安全・安心に多様な活動ができる場所を使用して行うものとする。

（対象児童）

第6条 事業の対象は、原則として、実施小学校に通学する児童で、各運営委員会に登録し、その承認を受けた者とする。

（実施日及び実施時間）

第7条 事業の実施日及び実施時間は、原則として平日の授業終了後から18時までとする。ただし、

運営委員会は、児童の安全に関する特別な事情がある場合等、事業の運営上特に必要と認めるときは、教育委員会及び関係団体との調整の上、実施日及び実施時間を変更することができる。

(費用)

第8条 事業の活動に参加するための費用は無料とする。ただし、特別な教材及び行事のための費用については、参加する児童の保護者が負担するものとする。

(保険)

第9条 事業の活動に参加する児童は、不慮の事故等に対応するため、傷害保険に加入するものとする。

2 前項の保険に加入する費用は、保護者が負担するものとする。

3 事業の活動中の事故によりボランティアが損害を受けたときは、所沢市市民活動総合補償制度において補償するものとする。

4 前項の規定による補償については、所沢市市民活動総合補償制度取扱要綱（平成20年4月1日施行）の定めるところによる。

(教育委員会の責任)

第10条 登録を承認した児童の事故については、教育委員会は責任を負わない。ただし、教育委員会の責めに帰すべき事由がある場合には、この限りでない。

(連絡協議会)

第11条 教育委員会は、事業の運営を円滑に実施するために、連絡協議会を開催することができる。

2 連絡協議会は、教育委員会並びに各実施小学校の運営委員会の代表、実施小学校長及びスタッフリーダーにより構成する。

(その他)

第12条 この要綱に定めのない事項については、別に定める。

附 則

この要綱は、平成19年10月1日から施行する。

附 則（平成20年3月26日）

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月8日）

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月15日要綱）

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月23日要綱）

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和7年4月1日要綱）

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

所沢市放課後支援事業のこれまでの経過

平成15年 4月 1日	のびのび学習支援事業（放課後型）要綱 制定
平成15年10月15日	所沢小学校ほうかごところ 開設
平成16年12月13日	北小学校ほうかごところ 開設
平成17年11月15日	松井小学校ほうかごまつい 開設
平成18年 4月 1日	放課後支援事業実施要綱 一部改正
平成19年 2月 1日	清進小学校せいしんネットほうかごところ 開設
平成19年 4月23日	明峰小学校ほうかごめいほう 開設
平成19年10月 1日	所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」実施要綱 全部改正
平成19年 6月 1日	埼玉県教育長 所沢小学校 視察
平成19年10月10日	「ほうかごところ」緊急時の際の対応 作成
平成19年10月11日	文部科学省 審議官 所沢小学校 視察
平成19年12月26日	所沢市放課後子どもプラン 策定
平成20年 1月 1日	所沢市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱施行
平成20年 1月29日	所沢市放課後子どもプラン運営委員会発足
平成20年 4月 1日	所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」実施要綱 一部改正
平成20年 6月30日	若松小学校ほうかごわかまつどんぐりキッズ開設
平成20年11月17日	北秋津小学校ほうかごところとんぼキッズ開設
平成21年 2月25日	文部科学省 第1回放課後子ども教室優良表彰 所沢小学校ほうかごところ受賞
平成21年11月10日	若狭小学校ほうかごところわかさ 開設
平成21年11月26日	林小学校ほうかごところ・はやし 開設
平成22年 4月 1日	所沢市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱廃止 所沢市放課後こども健全育成基本方針策定委員会 設置要綱 施行
平成22年10月12日	南小学校ほうかごみなみ 開設
平成23年 4月 1日	所沢市放課後こども健全育成基本方針 策定
平成25年 4月 1日	所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」実施要綱一 部改正
平成27年 4月28日	中富小学校中富ほうかご広場 開設（青少年課）
平成30年 3月 8日	「ほうかごところ」緊急時対応の手順 一部改訂
平成30年 4月 1日	所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」実施要綱 一部改正
令和 2年 4月 1日	所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」実施要綱 一部改正
令和 7年 4月 1日	所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」実施要綱 一部改正
令和 7年 4月10日	荒幡小学校ほうとこ荒幡 開設
令和 7年 4月28日	三ヶ島小学校ほうかごところむくろじキッズ 開設

令和7年度 所沢市放課後支援事業「ほうかごところ」実施校

学校 名称	所沢小学校 所沢小学校 ほうかごところ	平日給食のある日 夏：授業終了後～18時00分 冬：授業終了後～17時00分 春秋：授業終了後～17時30分 延長活動 突発的な理由で保護者から申し出があった場合のみ (終了時刻の30分後まで)
住所	所沢市元町7-37	
電話番号	2922-0402	
開始年月	平成15年10月	
学校 名称	北小学校 北小学校 ほうかごところ	平日給食のある日 (通年)授業終了後～17時30分
住所	所沢市緑町1-10-33	
電話番号	2928-9996	
開始年月	平成16年12月	
学校 名称	松井小学校 ほうかごまつい	平日給食のある日 (通年)授業終了後～16時30分
住所	所沢市上安松895	
電話番号	(松井小図書館内) 2992-2796	
開始年月	平成17年11月	
学校 名称	清進小学校 清進小学校ほうかごところ	平日給食のある日 (4月～9月)授業終了後～17時45分 (10月～3月)授業終了後～17時00分
住所	所沢市けやき台1-38-1	
電話番号	2925-3866	
開始年月	平成19年2月	
学校 名称	明峰小学校 ほうかごめいほう	平日給食のある日 (通年)授業終了後～17時30分 ※17時20分～ 全員で片づけ
住所	所沢市北有楽町26-20	
電話番号	2926-2662	
開始年月	平成19年4月	
学校 名称	若松小学校 ほうかごわかまつ どんぐりキッズ	平日給食のある日 (通年)授業終了後～17時30分
住所	所沢市下新井1231-2	
電話番号	2996-3327	
開始年月	平成20年6月30日	
学校 名称	北秋津小学校 ほうかごところ とんぼキッズ	平日給食のある日 (4月～10月)授業終了後～17時30分 (11月～3月)授業終了後～17時00分
住所	所沢市北秋津623	
電話番号	2996-6030	
開始年月	平成20年11月17日	
学校 名称	若狭小学校 ほうかごわかさ	平日給食のある日 (通年)授業終了後～17時30分
住所	所沢市若狭1-2946	
電話番号	2949-3888	
開始年月	平成21年11月10日	
学校 名称	林小学校 ほうかご・はやし	平日給食のある日 (4月～9月)授業終了後～17時30分 (10月～3月)授業終了後～17時00分
住所	所沢市和ヶ原3-95-8	
電話番号	2949-5330	
開始年月	平成21年11月26日	
学校 名称	南小学校 ほうかごみなみ	平日給食のある日 (通年)授業終了後～17時30分
住所	所沢市南住吉18-29	
電話番号	2925-1236	
開始年月	平成22年10月12日	
学校 名称	中富小学校 中富ほうかご広場	平日給食のある日 (4月～9月)授業終了後～17時30分 (10月～3月)授業終了後～17時00分
住所	所沢市中富1004-1	
電話番号	2942-7801	
開始年月	平成27年4月28日	
学校 名称	荒幡小学校 ほうとこ荒幡	平日給食のある日 (通年)授業終了後～17時30分 ※お迎えなし(4年生以上)の場合、11月～3月は 16時30分まで
住所	所沢市大字荒幡684-3	
電話番号	2924-7654	
開始年月	令和7年4月10日	
学校 名称	三ヶ島小学校 ほうかごところむくろじキッズ	平日給食のある日 (通年)授業終了後～17時30分 ※17時20分～ 全員で片づけ
住所	所沢市三ヶ島5-791-4	
電話番号	2949-8511	
開始年月	令和7年4月28日	

所沢市放課後支援事業ほかごところ
令和7年度 報告書

発行月 令和8年3月

編集・発行 所沢市教育委員会

〒359-8501

所沢市並木一丁目1番地の1

TEL 04-2998-9238 (学校教育課)

04-2998-9242 (社会教育課)

04-2998-9103 (青少年課)



所沢市イメージマスコット
トコロん